

新しい購買スタイル

ファイナンシャルプランナー 柳沢 志賀子

コロナ禍により今までのような生活はできなくなり、誰もが模索している。
コロナウィルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等措置などで、観光業や飲食業そしてお土産品を中心に手掛ける小売業の売り上げは減少するばかりで、痛手が大きい。
観光地である奄美にとっても観光客の減少で、ままならないことが多い。だが、嘆いてばかりでは前に進めない。そこで、6次産業化に取り組んでいる業者向けのオンライン講習に参加してみた。クラウドファンディングについて学んだ。

■クラウドファンディングとは

群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語。

インターネットを通して不特定多数の人が他の人々や組織に財源や協力などを行うことで「クラファン」と略されることもある。

クラウドファンディングには「購入型」「寄付型」「金融型」がある。

購入型は新商品等開発する際に資金を募り、出資者はリターンとして商品を手に入れる形

寄付型はプロジェクトをウェブサイトなどに掲載し、寄付を募る形

金融型には「株式投資型」「事業投資型」「貸付型」がある。

株式投資型とはインターネットのプラットフォーム（クラウドファンディングの運営元）を介して企業の未公開株に投資するタイプ（上限が決められている）

事業投資型とは事業に対して出資するタイプ

貸付型とはソーシャルレンディングともいわれ、個人が企業等に融資して利子を得るもの
クラウドファンディングのサイトには企業情報が載っており、自分で融資先を選ぶことが可能。

いずれの型にも共通していることは、プロジェクトや企業にもとづく出資であり“支援”の意味が含まれている。

■クラファン（クラウドファンディング）は購買スタイルの一つ

- ・新商品や欲しいものを購入する場合、【amazon】【Rakuten】などを利用
- ・中古品などを購入する場合、【メルカリ】【ヤフオク】などを利用

・クラファンで購入する場合、【CAMPFIRE】【READYFOR】などを利用
クラウドファンディングでプロジェクトを立ち上げ、支援してもらい成功するには大切なことがいくつかある。①物語と経験（モノを売るのではなくコトを伝える）。②新しい価値を創造。③長期的な戦略が必要。④メディアを使った広報力。⑤テストマーケティング。⑥ファンを集めるための工夫。などを考慮して、クラウドファンディング各社の手数料とサービスを比較して自分にマッチしたファンディング社を選ぶことが大切。

■クラウドファンディング各社の手数料とサービス（2021年3月時点）

・CAMPFIRE（キャンプファイヤー）

手数料：12% + 決済手数料5% = 17%

サービスの特徴：一番認知度の高い「購入型」のクラウドファンディングサービス。
日本最大のクラウドファンディングプラットフォーム。掲載プロジェクトは多種多様。
いろんなジャンルに特化して、一人の担当者が丁寧にサポートしてくれる。

・Good Morning（グッドモーニング）

手数料：4% + 決済手数料5% = 9%

サービスの特徴：CAMPFIREグループのサービスの一つ。社会問題と向き合う人のクラウドファンディング。ソーシャルグッド領域に特化したサービスを提供。

「購入型」だけでなく「寄付型」で募集。

CAMPFIREのソーシャルグッドカテゴリにも同時掲載されるので、より多くの人に見てもらえる。

・Makuake（マクアケ）

手数料：20%（決済手数料含む）

サービスの特徴：まだ世の中にない新しい“モノ”や“体験”の応援や購入ができる。「購入型」のクラウドファンディングサービスを提供。購入できるモノやサービスのジャンルが様々なのが魅力。

・READYFOR（レディーフォー）

手数料：シンプルプラン 7% + 決済手数料5% = 12%

フルサポートプラン 12% + 決済手数料5% = 17%

サービスの特徴：“誰もがやりたいことを実現できる世の中をつくる”をスローガンに「購入型」「寄付型」のクラウドファンディングサービスを提供。

シンプルプランはサイトの基本機能とメールサポート。

フルサポートプランはクラウドファンディングのプロがプロジェクトの準備から終了までフルサポート。医療系のプロジェクトが多い。

- ・ A-Port (エーポート)

手数料 : 15% + 決済手数料5% = 20%

サービスの特徴: 朝日新聞社が運営する A-Port は、「購入型」「寄付型」のクラウドファンディングサービスを提供。様々なキャリアを積んできた社員が担当につき、プロジェクトのストーリー構成や実行までをサポート。新聞社ならではの情報発信やPR戦略に優れている。支払方法はネット決済だけでなく現金書留での送付も受付、幅広い年齢層をターゲットにしている。

- ・ Motion Gallery (モーションギャラリー)

手数料 : 5% + 決済手数料5% = 10%

サービスの特徴: アート、音楽、写真、ゲーム、書籍などクリエイティブな活動に特化したクラウドファンディングサービス。専属のスタッフが起案からマネタイズまでずっとサポート。提携を結んでいるアメリカの Indiegogo の特設ページにも同時掲載なので、世界を視野に入れて活動したい人におすすめ。

- ・ Kibidango (きびだんご)

手数料 : 10% (楽天ペイ利用時は14%)

サービスの特徴: 「購入型」のクラウドファンディングサービスを提供。作りたいものや実現したいことをプロジェクト化し、支援者を募ります。プロジェクトをサポートするのは、ライター、デザイナー、プロジェクトマネージャー、ファイナンシャルプランナーなどのキャリアをもったスタッフたちで、成功率も8割と高い。今までの事業や活動の中で初めて取り組むプロジェクトであることが条件。プロジェクトオーナーはアイデアを実現できるスキルを持ったプロフェッショナル、もしくはそれに準ずる人であることを前提としている。

以上はほんの例だが、クラファンスタイルのプラットフォームが増えていくであろう。

ふるさと納税も自治体のクラウドファンディングである。昨年10月からわが自治体でも旅行業者がプラットフォームのクラウドファンディングのサービスが開始。“さとふる”など大手と提携している。

「しりたむんきゃ」のハーブ茶を返礼品として登録してみた。11月末にアップロード完了して12月には注文が入った。

ふるさと納税(寄付金控除)をしたい方はふるさと納税サイト(さとふる、ふるなびなど)で応援したい自治体に寄付ができる。仕組みは賛否両論あるが、ウインウインの関係であるのは間違いない。

夢の実現の為のツールとしてクラファンを利用することをアドバイスできるのではないか。

以上